

# 今年もヤマユリが開花

～市庁舎隣の東京理科大学ふれあいの杜で複数の開花を確認～

野田市役所に隣接する「東京理科大学ふれあいの杜」（約4.7ヘクタール）は、ヤマユリ、キンラン、ギンランなど、町中では珍しい希少な植物が生息している雑木林である。毎年、春から夏にかけて、森林浴を楽しみながら、さまざまな花も楽しめる貴重な平地林として、市は散策路を整備し、自然の中に咲く花、樹木、野草などのみどりと直接親しめるよう保全している。

この「東京理科大学ふれあいの杜」で、今年もネーミングライツパートナーである東京理科大学の環境保全サークル RiSO Ranger（リソレンジャー）と野田市が共同でヤマユリの自重による転倒を防ぐための支柱立てを6月17日に行い、多くの市民にヤマユリを楽しんでいただけるよう準備をした。今年も6月27日に1株のヤマユリの開花を確認、29日には、数株の開花を確認した。

15～25センチメートルほどの大きさの花が咲いており、7月中旬に見ごろとなる見込み。

## 【三ツ堀里山自然園のヤマユリの開花状況】

三ツ堀里山自然園においても、園内の北側園路沿いに約50株確認しており、中央の杜の開花に引き続き、近くヤマユリが開花する見込みである。

## 【ヤマユリ】

ユリ科の多年草。近畿以東の太平洋側の低山に生え、栽培もされる。葉は互生（ごせい）し、披針形（ひしんけい）。初夏、茎頂（けいちょう）に香りよい大型漏斗状花（ろうとじょうか）を横向きに数個つける。花は白色で、内側に赤褐色の斑がある。自生地により箱根百合、鳳来寺百合、吉野百合・叡山百合などとも呼ぶ。／大辞林（三省堂）より

## ●ヤマユリの保護について

平成27年7月1日に施行した「野田市野生動植物の保護に関する条例」では、市内の野生動植物の保護をはかり、豊かな自然環境を将来の子ども達に継承することを目的に、道路、公園、広場その他の公共の場に生息又は生育しているヤマユリを「採取若しくは損傷してはならない」と定め、保護している。

問合せ・みどりと水のまちづくり課（直通）04-7199-8147

（代表）04-7125-1111（内線2692）

野 田 市